

(案)

総括部会報告

基本構想諮問案について審議を行ったので、次のとおり報告する。

1 開催状況

- 第1回総括部会 4月28日(金) 18:00～20:00
- 第2回総括部会 5月19日(金) 18:00～20:00
- 第3回総括部会 5月29日(月) 18:00～20:00

2 総括部会での意見

- ・過去の総合計画で重視されていた「平和への想い」の位置付けに留意すべきである。
- ・近年増加傾向にある来訪する外国籍の方々への視点も考慮する必要がある。
- ・市民に分かりやすい計画とする観点から専門用語や外来語の使用には留意する必要がある。
- ・誰もが住みよいまちを築くために、障がい者への視点や性の多様性への視点は、まちづくりの姿勢として欠かせないものである。
- ・市民から提案された「小さな『わ』を大きな『Wa』につなげる」ことや「近助」という概念は、協働によるまちづくりを進める那覇市にとっては非常に大切なキーワードとなると考える。
- ・こどもや文化の分野は、それぞれが独立して柱となるほど重要な分野であることを認識すべきである。
- ・子どもが主体性を持って健やかに成長することを視点とすべきである。
- ・那覇が率先して取り組んできたしまくとうばの普及に積極的に言及すべきである。
- ・沖縄全体が観光レジャー・リゾート都市というイメージが強かったが、これからは、ビジネスリゾートという概念が重要となる。
- ・経済を考える上では、沖縄全体の中で那覇市がリーダー的な役割を果たす姿勢が必要である。
- ・所得の向上等産業を支える生活者の視点を大切にモチベーションが上がる施策を強化していく必要がある。
- ・景観づくりの重要性を認識し、豊かな景観づくりに努める必要がある。
- ・比喩表現としての「仕次ぎ」は、良いと考えるが、「仕次ぎ」が分からない人もいると考えられるため、丁寧な説明が必要である。

3 基本構想総括部会案

別添 基本構想(総括部会)のとおりに